



東京多摩プロバスニュース

第 28 号

■事務局: 〒206-0034 東京都多摩市鶴牧 5-29-10 平田方 ■編集・発行:編集委員会 2010. 1. 13

■電話・FAX (042) 338-7022 ■URL: <http://www.tokyo-tama-probusclub.com>

豊かな経験を生かし、多彩なプロバスライフを

第 65 回 定例会

日 時 :平成 21 年 11 月 4 日(水)午後 1 時 30 分より

場 所 :つむぎ館 学習室

お客様:多摩市長 渡辺 幸子様

出席者 :27 名(会員数 37 名)

第 66 回 定例会

日 時 :平成 21 年 12 月 2 日(水)午後 3 時より

場 所 :京王クラブ 会議室

出席者 :31 名(会員数 37 名)

◇◇◇ ごあいさつ ◇◇◇

理 念

1. 豊かな人生経験を
生かし地域社会に
奉仕する
2. 奉仕の機会として
知り合いを広める
3. 活力ある高齢社会
を創造する
4. 非政治的、非宗教
的、非営利的とす
る

“No work is finished without creation”

総務委員長 中村昭夫



新年明けましておめでとうございます。会員の皆様には新しい年を迎えられ、新たな気持と抱負をもって新年を歩み出そうとされていることと思います。15 人でスタートした我が東京多摩プロバスクラブも現在では 37 人となり、いろいろな経験とノウハウをお持ちの会員の集いとなりました。会員同士の親睦も深みを増し、活動も多岐に渡って活発になってきました。誠に喜ばしいことです。ただ組織が大きくなるとマンネリ化や硬直化になりがちになりますので、工夫して打破してゆきたいと思います。

20 年ほど前になりますが、仕事である著名な人と知り合い、いろいろな話をする事ができました。その人も会社からの派遣でアメリカで仕事をしていた経験から、アメリカ人の仕事の仕方について話し合ったことがあります。アメリカでは指示された仕事を確実にこなすだけでは低い評価となってしまいます。仕事をする場合にはその中に何か新しいことを付加する、自分なりのものを創り出すことが求められ、それを作り出すこと

によって高い評価を得ることができます。まさに” No work is finished without creation ” (何か新しいことを創り出さない限り仕事を終えたとは言えない) です。その方とこのような言葉を作って自らに心がけるようにしていこうと話しました。

私たちのクラブでも、会員の方々の知恵を出し合って活動に新しいものを付加していくよう工夫して、少しでも充実した満足のゆくクラブにしてゆきたいと願っています。



第 66 回定例会後の忘年会 12 月 2 日 京王クラブ

◇◇◇ 幹事・委員会報告 ◇◇◇

1. 幹事報告

登坂征一郎幹事

- (1) 東京多摩ロータリークラブ主催「多摩市中学生俳句大会」に 1792 句の応募があり、当クラブから、選考会、表彰式に参加。展示は平成 22 年 1 月 7 日(火)～12 日(火)、京王 SC5 階ブリッジギャラリーで開催予定。
- (2) 全日本プロバス協議会理事との交流会が、東京八王子 PC がホスト役で、京王プラザホテルで開催。当クラブから村上伸茲会長以下下記の通り参加。
 - ① ウェルカムパーティ、11 月 15 日(日)18 時～平田哲郎事務局、滝川益男広報委員長の 2 名が参加。
 - ② 第 2 回全日本プロバス協議会理事会傍聴、11 月 16 日(月)10 時～；村上会長が参加。
 - ③ 交流会、同日 12 時 30～；村上会長、岡野一馬監査、平田事務局、中村昭夫総務委員長、神谷真一地域奉仕委員長、滝川広報委員長 6 名が参加。
- (3) 東京稲城 RC から「プロバスクラブ」に関して卓話の依頼があり、11 月 19 日(木)、岡野一馬監査が実施。

2. 委員会報告

2・1 総務委員会

中村昭夫委員長

- (1) 11 月定例会 出席 27 名、欠席 10 名
渡辺市長による講話「多摩市の街づくり」。多摩市第 5 次総合計画にもとづき将来の都市像構想について丁寧な説明をいただいた。座談会は女性会員による「男のおしゃれ講座」。男性会員には耳の痛い指摘もあったがとても参考になる企画であった。
- (2) 12 月定例会 出席 31 名、欠席 6 名
松永弘会員による卓話「東南アジアのスポーツ事情」。ベトナムに長く駐在された同氏ならではの話を聞くことができ、興味深く多くの質問があった。またいつか機会をみてベトナムの話を聞けたらとの要望が多かった。

2・2 研修親睦委員会

増山敏夫委員長

- (1) 11 月 18 日(水)、小山内裏公園の展望台で見晴るかす丘陵景観を眺めながら、蓮池守一会員に多摩丘陵の

ニュータウン前史のレクチャーをお願いし、併せてウォーキングを行った。心身ともに充実した半日を過ごすことができた。(参加 14 名)

- (2) 12 月 3 日(水)、京王クラブにて 2009 年締め括りの忘年会を、八王子プロバスクラブ、会員家族もお呼びして、総務委員会と協同で盛大に行った。中村会員率いるヴォーカルグループ「多摩ダンディーズ」の余興もあり、楽しい一時を過ごした。(参加 40 余名)

2・3 地域奉仕委員会

神谷真一委員長

- (1) 11 月 4 日定例会
南豊ヶ丘小学校にて 11 月 20 日(金)に国際理解教育に中村会員、関根会員が講師となり、授業を行うことになりました。
- (2) 12 月 2 日定例会
11 月 20 日の南豊ヶ丘小学校の授業では、アメリカについて中村会員、ドイツについて関根会員が映像により大変上手にお話して、子供達や先生方も大満足な一日でした。これからの活動には一般市民等を対象に考えたい。

2・4 広報委員会

滝川益男委員長



プロバス
ニュース
編集会議
風景

当クラブのホームページは更新された内容で公開されています。インターネット上の検索は下記の URL <http://www.tokyo-tama-probusclub.com> をご利用願います。今後 2 ヶ月周期で更新変更する予定です。なおこの URL は、今回から当会報のトップページにも掲載してあります。

◇◇◇ 男のおしゃれ教室 ◇◇◇



ダンディーに決まった!

小西加葉子会員

11 月 4 日(水)の定例会の折りに、総務委員長の中村さんから女性会員に「男性おしゃれ教室」の要請がありました。

少数派女性会員としてはとても困りました。しかし相談の結果、女性会員がそれ

ぞれ自分なりの考えやアドバイスをすることになり、私は最後に、家にあったアスコットタイやネッカチーフを持参しました。

まず顔色を良く見せるためのテクニッツとしてシャツの中に顔映りの良いタイを首に巻くことを提案しました。男性会員の中からモデルをお願いしての実演は、結構ウケました。これから寒さに向かいます。またおたがいの首の皺も目立つ年になりました。奥さまの小さなスカーフを借りて、今年の冬はカッコ良く決めて下さい。

◇◇◇ 国際理解授業 ◇◇◇

南豊ヶ丘小学校での授業

関根正敏会員

地域奉仕委員会の活動の一環として、去る 11 月 20 日(金)に多摩市立南豊ヶ丘小学校で国際理解授業を実施しました。今回は中村昭夫会員がアメリカについて、関根正敏会員がドイツについて、それぞれの駐在経験を踏まえ分担して説明を行いました。

アメリカの授業では、アメリカ合衆国がいかに広く大きな国か、アメリカ国旗の解説、移民により様々な人種が住んでいること等を説明、またナイアガラ、グランドキャニオン、ニューヨーク、デイズニーランドなど、映像を見ながらの説明に生徒たちは目を輝かせて見入っていました。

ドイツの授業では、最初に「ドイツについて何か知っていますか?」と尋ねたところ、「壁」という返事が返ってきたのには少々驚きました。ベルリンの壁崩壊から 20 年ということでテレビのニュースで繰り返し放映されていたせいかも知れません。アメリカ同様、映像を見ながら



南豊ヶ丘小学校で開催した国際理解授業

ドイツの気候や食べ物、中世以来の街並み、グリム童話などの説明をしました。2 時限目(1~3 年生)、3 時限目(4~6 年生)を利用した授業でしたが、それぞれ時間ピッタリに授業を終え、校長先生から「本職の教師でもなかなか難しいのに」とお褒めの言葉をいただきました。

当日は神谷真一(地域奉仕委員長)、大澤亘、古澤靖雄の各会員も授業に同席しました。

◇◇◇ 多摩の歴史散策 ◇◇◇

都立小山内裏公園のウォーキング 山田正司会員

秋の深まりも急ピッチな 11 月 18 日(水)晴天に恵まれた多摩丘陵の一角で、わが多摩プロバスクラブの歴史研修を兼ねた親睦ウォーキングが実施された。総勢 14 名のメンバーが、多摩ニュータウンの西端に位置する小山内裏公園で、自然保護と文明の歩みとの深い係わりを、その目で足で楽しみながら実体験する貴重な一日であった。

京王線多摩境駅前広場に午前 10 時に集合した一行は、徒歩でニュータウン通りと直交する多摩境通りを横断し



散策コースからの山々の眺望

て北上し、約 10 分で公園東展望台広場に到着した。折しも、毎年恒例の京王電鉄グループ社内駅伝大会のコースである戦車道スタート地点と重なっていたため、若い人達で大変活気づいていた。この展望台広場からは、南西方向に相模原、大山、丹沢、足柄山地までも展望できる。ここで郷土史に精通している蓮池守一会員から、予め用意された 1/25000 の新旧国土地理院地図と A4 判資料 2 枚をもとに「横山の道周辺の歴史」講義を聴くことができた。

現場での臨場感あふれる有益な研修となった。

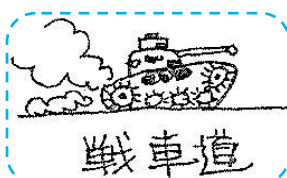
いよいよウォーキング開始である。先の第二次大戦下での陸軍戦車試乗道とし

て整備されたコースを西に進む。現在の南多摩斎場から尾根沿いの一部跡地が舗装されている。多摩武蔵野の代表的雑木林のクスギ、榎などの落葉風情を鑑賞しながら歩く。尾根の尽きるあたりが公園の西端で、これより北方に山道を下り南大沢方面に向かう。因みにこのコースも昔より「鮎道」と称されて、相模川の鮎が江戸へ運ばれた古道である。やがて平坦な住宅地に達する地点が、公園北端に当たる太田切池と水辺広場である。時刻は正午に近く、ここで全員手持ちの弁当で車座のランチタイムを過ごす。このあたりは大栗川の源流域であり、ニュータウン開発と共に都市公園としての憩いの広場として整備された。

昼食後はふたたび坂道を東方向にゆっくりと登り、途中の草地広場を経由して尾根緑道となる戦車道にたどり着く。これに沿って水平にさらに南西に転じて歩くと、やがて公園を一周して出発点の展望広場にもどる。そして午後 2 時前に、心地よい疲れを感じながら、全員無事に多摩境駅前に帰り、解散となった。



参加した総勢 14 名のメンバー



平成 21 年 11 月 4 日、第 64 回定例会において「多摩市の街づくり」と題して、多摩市長渡辺幸子様から講話をいただき、たいへん参考になるお話を詳しくお話しいただきました。ここにその骨子のみを掲載します。

「多摩市の街づくり」 多摩市長 渡辺幸子様

「東京多摩プロバスクラブ」は今年 5 月に創立 5 周年の記念式典を挙げられ、私もお招きいただきました。その際特に印象に残ったのは、会員の奥様が女性会員の方々と一緒に活躍されていることでした。

また 4 月にパルテノン多摩市民ギャラリーで開催された「美しい多摩を次の世代に」の公募展では、見慣れた風景の中にとっても斬新な切り口の作品もあり、多摩市の景観について改めて新鮮な認識をもつことができました。さらに、裁判員制度は一応順調にスタートしたようですが、それに先立ち時機を得た研修会や講演会を何回も開催されたことは、このクラブの先見性を示したものと評価しております。「プロバス平成寺子屋塾」については、市民が安全に暮らしていけるよう、今後とも皆様方のお力をお貸しいただきたいと思えます。

＜子育て施設について＞

平成 19 年 3 月に閉鎖された多摩市立幼稚園が、耐震補強をし「子育て総合施設」としてリニューアルオープンしました。この施設の「子育てひろば」では子どもと親と一緒に触れ合うことができます。また現在、保育所待機児童がかなりいますが、一時保育を行う業務もあり、これによって待機児童数が減ることを期待しています。2 階部分は市役所の相談業務がメインですが、「ファミリー・サポート・センター」事業も行っています。これは大学と NPO 法人と市役所が提携した、全国でも珍しい先駆的な取り組みです。

今年オープンしたものに、中諏訪小学校跡を耐震補強してできた「教育センター」と「特別支援相談室」があります。発育の遅れた子どもの面倒を見るものです。これまで福祉と教育はそれぞれ別のものとして扱われていました。この垣根を乗り越えて 1 本化するのに 5 年掛



かりました。市民の視点から行政サービスのあり方を考える方針の成果と考えています。子どもは宝です。子どもたちが健全に成長できるよう、プロバスクラブの皆さんが今後ともお力添えくださいますようお願い申し上げます。

＜第 5 次総合計画の将来都市像＞

現在、審議会において検討中で、これまで 16 回の会合が開かれており、年明けには答申が出される予定です。多摩市の将来都市像については、①育み合う街、②生き生きした街、③明日へ繋ぐ街、という 3 つの柱が考えられています。

＜多摩市の財政健全化について＞

財政健全化法による財政指標を見ると、多摩市は全国でも非常に良い数字になっています。私の就任した平成 14 年度には赤字は 350 億円でしたが、繰上げ償還などにより平成 20 年度には 250 億円に減少し、赤字解消の公約は順調に実現しつつあります。6 年前と比べると経常収支比率は改善していると思えます。

「多摩市の人件費は日本一」とのご指摘につき、改革途上にある現在の状況を説明させていただきます。次の 3 点です。①職員の少数精鋭をはかり、平成 14 年度から現在まで職員数を 120 人(12%)減らしました。その結果、人件費への市民 1 人当たり年間負担額は多摩地区 26 市の平均を下回り、全国平均に比べても低い数字になっています。②職員の年齢構成が高くワイングラス状況になっていますが、これについては新卒プラス 35 歳までの職員の採用を進めており、平均給与の引き下げを図っています。③「わたり」の廃止です。東京都の人事制度ができたときに習って採用されたのですが、多摩市ではこれを廃止するのがやや遅れたのです。

＜多摩市の街づくりについて＞

当面の目標として、①建築物の高さ制限、②諏訪 2 丁目団地の建替え計画。このパイロット事業が成功すると、多摩ニュータウンの将来の建替えが見えてきます。③団地建物の耐震補強工事とエレベーター設置を実現します。緑豊かな多摩ニュータウンの緑化率をさらに引き上げ、行政の実践と市民の皆さんのボランティア活動の協働により、さらによい環境を将来世代に伝えるよう努力してまいります。

(文責・広報委員会)



昭和 59 年開発途上の桜ヶ丘駅周辺 (岡野一馬会員画)

◇◇◇ 2009年 忘年会 ◇◇◇

親睦・交流の忘年会

神谷真一委員長

今年最終の月例会の後、忘年会が開かれました。場所は例年の如く京王クラブのパーティールーム。

今年は5月に東京多摩プロバスクラブの創立5周年の記念式典と行事を行い、パルテノン多摩の市民ギャラリーで「次の世代に残したい多摩の風景」とのテーマで多摩の美しい風景を対象に絵画と写真を市民より集め、展示会を10日間にわたり開催されました。

今回の忘年会は東京八王子プロバスクラブのお客様、当会の会員のご婦人方、そして余興には会員の中村さんと「多摩ダンディーズ」のメンバーです。

本年9月にデビューし、多摩市主催の「長寿を祝う会」に出演など活躍されています。



多摩ダンディーズのハーモニー

歌のしおりのもとに参加者全員での合唱は雰囲気盛り上げました。メンバーを紹介しますと、トップテナー横澤襄、セカンドテナー島田義夫、バリトン且敷夫、ベース中村昭夫の四氏です。

また今回の忘年会の会場には初めての試みで、当クラブの一年間の行事の写真をパネルにまとめて、会員、家族、お客様に紹介し、懐かしく一年を振り返ることができました。

なお毎年私達の親睦の行事に参加していただいている東京八王子プロバスクラブの方々をご紹介致します。元会長宮崎浩平様、会長下山邦夫様、副会長杉山友一様、幹事荒正勝様、地域奉仕委員長堀口進様、交流担当理事山崎修司様でした。



東京八王子プロバスの方々とともに

◇◇◇ ハッピーバースデー ◇◇◇

「夫婦箸」をプレゼント

鴻池敬和副会長

今期から村上会長の発案で東京多摩プロバスクラブ会員の皆さんに、各位の誕生月に記念として「誕生日プレゼント」—環境のシンボルである「ホタル」のマークを付けた「箸」一膳—をプレゼントすることがルーティン化されました。

それぞれが、自分の歳を自覚するとともに歩んで来た年月と功績ないし思い出を振り返りつつ“これからの希望と生き方を自覚してハッピーな行く末を思い描いて

いただきたいと思いでありましょう。

この箸の作成は、増山会員のご手配で、なかなか良い出来栄の記念品ができました。毎月の「定例



夫婦箸



11・12月ご誕生おめでとう！

左から松永、村上、鴻池、蓮池各会員

会」にて該当者に副会長から手渡されます。

この箸で毎食を美味しく、楽しく戴いて、健康を維持して元気で活躍されることを祈っております。

「英国プロバス」には、イギリス各地のプロバスクラブからの便りを載せる「プロバス・マガジン」があり、各クラブの近況を伝えています。今回は興味深い活動をいくつか拾って紹介いたします。

イギリス・プロバス便り 滝川益男会員訳 「グリーンボウリング・サークル」

英国中西部シュロップシャー州の「ブリッジノース・プロバスクラブ」には「グリーンボウリング・サークル」がある。



グリーンボウリングは芝生の上でボールを投げるスポーツ。同サークルの面々はみな高齢にもかかわらず、毎年、近隣のプロバスチームと対校試合をし、相手チームを倒して栄えある「トロフィー」を獲得しようと練習に余念がない。

昨年の大会は8月25日に開かれ、同クラブからの出場者4人の総年齢は348歳(写真:左から右最若年のI・ジョーンズ74歳、M・バートン90歳、H・コーフィールド93歳、E・ロリソン91歳)。全員が矍鑠たるプレーを見せたが途中で若手と交代し、チームはファイナルへ進み見事トロフィーを手にした。

オーストラリアから来客

英国ヨークシャー州「フィリー&ディストリクト PC」の9月年次総会後の昼食会で、会長ロバート・ホール夫妻(写真中央)は、オーストラリアバリラ市に所在する「アルストンヴィル PC」からの来客ボブ・クーパー夫妻(写真左右)に歓迎の挨拶をし、出席会員に紹介した。



これに対してボブ・クーパー氏は、「こうしてヨークシャー訪問を実現できたのも、当地のプロバスニュースを見て連絡を入れたところ、ただちに受け入れてくれたおかげです。世界のプロバスを結ぶ絆の温かさを実感しています」と語った。

音楽を楽しむ「アーマーダ PC」メンバー

「アーマーダ」とは「大艦隊」の意味。だが、いかついその名とは裏腹に、当クラブの面々は心優しい男ばかり。当クラブの会場「レザーヘッド・レジャーセンター」で長

年主任ウェイトレスを務めたメイビス・ポーリン嬢が、過日定年退職された折にも、真心の花束に添えて感謝状と現金小切手を贈呈して感謝された。

またフランシスジョーンズ会員が「スイスホルン」を主題に卓話をした折には夫のマーチン・ジョーンズ



会員がピアノを伴奏し、ジョーンズ夫人によるレオポルド・モーツァルト作曲「田園交響楽」のホルン演奏を助けた(プライアン・コックス記)。

「ハッピー・ニューイヤー」

「ハッピー・ニューイヤー——わがクラブは設立20年を迎え、ますます活発に活動しています。会員も100名を数えました。1年に8か月間、第2火曜日と第4火曜日に

例会を開いています。主な活動はウォーキング、屋内玉ころがし(ボウリング)、ゴルフ、観劇のほか、年に2、3回の小旅行。また今年からスヌーカー(玉突き)のサークルを発足させました。また過去の会長を囲んでの昼食会も定期的に行って、成功を収めています。写真上は昼食会で過去17人の会長に挨拶を送る(最近任期を終えた)「最近会長」のウィリー・ベッグ氏(ロビン・ドッズ記)。



グラスゴー市議会ホールを訪問

最近、わが「カールック PC」の有志22人がグラスゴー市の市議会ホールを訪問しました。たいへん由緒ある建物で、時のビクトリア女王が1883年に礎石を埋め、1888年に再度訪

れて市議会議長の椅子を賜った由でした(ボブ・ヨークランド記)。



◇◇◇ 全日本プロバス協議会との交流 ◇◇◇

八王子 PC が運営

滝川益男会員記

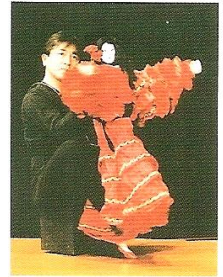
「全日本プロバス協議会」の理事会が 11 月中旬、八王子プロバスクラブの主催により京王プラザホテル八王子で開催されました。「全日本協議会」からの役員 6 名をメインに、各地から 8 クラブ 38 名が参加。当クラブからも、11/15 のウェルカムパーティーには平田哲郎会員と滝川が、11/16 の理事会には村上伸茲会長がオブザーバーとして出席し、午後の交流会は岡野一馬・平田哲郎・中村昭夫・神谷真一・滝川の各会員が出席して、



理事会会場に入る全日本 PK 金森会長（中央）

それぞれ交流を深めました。

理事会の主な議題としては、全日本協議会は原則として目的・定款・会則は一切作らず、基本姿勢はあくまでセンター的な役割であること、来年も金森正夫会長（京都）・吉川哲朗幹事長（神戸北）の体制でいくことなどが確認されました。来年の総会は旭川市に決定していますが、2年後（平成 23 年 11 月）の「第 3 回理事会」は神戸市、3 年後（平成 24 年 11 月）の「第 5 回総会」も神戸市での開催が決定しました。今回の理事会運営は、出し物の民俗芸術「車人形」（都指定無形文化財西川古柳座）も花を添えるなど、八王子 PC の努力が高く評価されました。



八王子「車人形」

◇◇◇ 会員の活躍 ◇◇◇

■「くるみ割り人形」多摩シティ・バレエ団公演

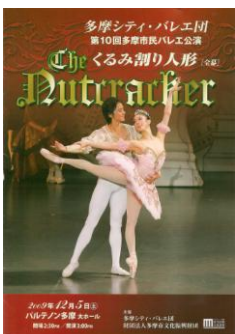
当クラブ会員・片山満子さん芸術監督による「多摩シティ・バレエ団」の第 10 回多摩市民バレエ公演「くるみ割り人形」全幕が、12 月 5 日（土）、パルテノン多摩大ホールで開演し、大成功を収めました。多摩市内外から多数のゲストを迎えて総勢 120 名が熱演、華麗な舞台は壮観でした。ストーリーは良く知るところですが、少女クララの夢の中、お菓子の部屋で繰り広げられる美しい演技、洗練された衣装と指先まで鍛えられたプロの技に魅せられました。そして、1 年生のエンゼルや 3 年生のネズミなど、年代別の子どもたちによる可愛い踊りに思わず拍手を送りながらの、あっという間の 2 時間でした。



片山満子会員

終了後、片山満子会員に取材しました。「今回はこれまでにない力が入り、最高の出来でした。パルテノンいっぱいのお客様に夢と幸せを贈らせていただきました。皆様ありがとうございました」とのことでした。私たちも芸術の秋を、心ゆくまで堪能しました。

なお片山さんは、多摩市の市



公演ポスター

制施行を記念して、10 月 30 日、市民の福祉増進に貢献した一人として「市民表彰（社会教育部門）」を受けました。バレエ指導者（「多摩シティ・バレエ団」）およびバレエ団主宰者（「片山満子バレエスクール」）としての、長年にわたる活動が評価されたものです。

（滝川道子会員記）

■大正琴の会

大熊妙子会員

11 月 25 日（水）南大沢交流ホールにおいて、琴伝流大正琴「のぼら琴の会」の会主として第 8 回発表会を開催し、入場者も 100 名を越える盛況でした。

（平田哲郎会員記）



演奏中の大熊妙子会員（中央）



小西加葉子会員

■市民茶会

小西加葉子会員

12 月 3 日（日）関戸公民館において、多摩市茶道連盟主催の「多摩市市民茶会」に席主として出演し、当日は、渡辺幸子多摩市長始め当クラブ会員 6 名も参加し入場者約 200 名の盛況でした。

（平田哲郎会員記）

安達太良山麓の滝

平田哲郎

今回から新しく連載されることになった”私の一品”への第一回掲載分に推され、聊かの緊張と喜びを感じている次第です。

さて、私のささやかな趣味としましては、カメラ、ビデオの撮影・編集とドライブ旅行、ゴルフくらいです。

偶々、私の父が大正の初期にアメリカの大学留学当時から写真技術に興味を持ち、当時のカリフォルニアの風景スナップを始めとして相当量の作品を残しました。

この父の血を引いてか、私も学生時代、サラリーマン時代を通してカメラに興味を持ち、定年退職後、多少の余裕も出来たので”家内と一緒に日本全国をドライブ撮影旅行しよう”と思い立ち、約10年かけて日本全国のはほぼ90%近くを走破し、アルバム25冊に及ぶ写真集を残すことができました。

その後、この大目的達成の反動からか、静止画にあきたらなくなり、この数年は動画に興味に移り、ハイビジョンムービーにのめりこみ、最近では当クラブの行事の収録なども手がけてまいりました。

ところが、幸か不幸か最近一眼デジタルカメラの機能が飛躍的に発達し、一台のカメラで静止画と動画(ムービー)の両機能を備えたカメラが開発され、目下、私もこの新しいカメラのマスターに懸命といったところです。

この新しいカメラでの作品の中で、安達太良山麓の滝の一枚を”私の一品”として掲載させていただきました。

この早朝の清冽な滝を撮影するため、深夜零時に出発、東北道を走り、安達太良山麓の漆黒の山道を約一時間喘ぎながら漸く辿りつき、滝の流れに入って撮った作品です。



老広報委員の悩み!

去る7月から滝川新広報委員会がスタートし、プロバスニュースの編集作業を7名の広報委員の分担で進めることになり、私自身あまり自信のないままに作業の一部の担当を引き受けた次第です。

しかし、現実には想像以上に厳しく、作文能力の欠如はもちろんのこと、句読点に始まる文章作成の細かいルールチェックにまで考えが及ばず、さらに、ニュース面の編成についてはレイアウトや挿入写真の扱いに戸惑い、練達の先輩委員に迷惑をかける体たらくで深く反省しています。(前期までは、登坂委員長が一人で総てをカバーされており、そのご苦労には全く頭が下がります。)

この混乱に拍車をかけるように、私のパソコン(購入後6年)までが機能不安定になり、思いあまって最近発売された新機種を購入すべく調べてみると、新機種は新しいなりにソフトの入れ替えとか操作の習熟に相当な労力が必要とのことで、どうしたものかと目下頭を抱えています。

さらに、このたび、”私の一品”の第一回掲載に推されるという榮譽を頂いた次第ですが、一ヶ月前に新しいカメラ(静止画・動画両用)に買い換えてその複雑な操作の習得に手をとられている最中のことで、特に現像、編集の作業がAVCHDという全く新しいソフトに変わったため、不慣れもあって頭の中はIT情報で混乱を極めているのが現状です。しかし、年明けにはこのすべての混乱を乗り越えねばならず、85年も使い古してすっかり老化した脳を叱咤して年末、年始も頑張る所存です。(平田記)

◇◇◇東京多摩プロバスソング◇◇◇

作詞 池田 寛

作曲 中村 昭夫

聖の桜仰ぎつつ 多摩の流れに身を清めて
緑の杜に囲まれた 我が故郷の行く末と
社会奉仕に力をそそぐ

集う我等プロバスクラブ
プロバス プロバス 多摩プロバスクラブ

霊峰富士を仰ぎつつ 心の業を磨き合い
豊かな知識身につけて 次の世代の若人の
教え導く糧となる

集う我等プロバスクラブ
プロバス プロバス 多摩プロバスクラブ